

2026. 11月

北文化小劇場 イベントスケジュール

開催日	催事名	開演	終演	問い合わせ先	入場料
11/11 (水)	映画「お就活3 幸春！人生メモリーズ」 上映会 ※日本語字幕付きで上映	①10:30 ②13:30	①12:25 ②15:25	京都映画センター 075-256-1707 (FAX 075-255-1905)	<全自由席> 一般 1,100円 (当日1,400円) シニア 1,100円 (当日1,300円)
11/21 (土)	第23回 なごや手話フェスティバル	13:30	15:30	なごや手話フェス ティバル実行委員会 FAX 052-413-0030	<全自由席> 前売 2,500円 (当日 3,000円) 小学生以下無料
11/23 (月・祝)	まどろみの宴	11:30	15:00	美千栄会 代表 大角千恵子 052-901-7801	<全自由席> 無料

臨時休館のお知らせ

2027(令和9)年1月4日(月)～3月31日(水)まで

トイレ改修工事・舞台音響設備改修工事のため、
すべての利用を休止します。

[臨時休館中の受付時間] 9:00～17:00 [休館日] 日曜日

※ただし、1/4(月)、2/1(月)、3/1(月)は休館いたしません。

2026年10月1日お申込みから新料金になります

- ・9月末までに申込みされた方は、改訂前の料金でご利用いただけます。
- ・駐車場料金は10月1日ご利用分より300円→500円となります(30分以内無料)。

※9月末までにご購入された回数券は10月1日以降もご利用いただけます。詳しくはHPの料金表をご確認ください→



名古屋市文化振興事業団 [北文化小劇場]

〒462-0037 名古屋市北区志賀町4丁目60番地の31

[営業時間] 平日9:00～20:00／土日祝9:00～17:00

[休館日] 月曜日(月曜日が祝休日のときはその直後の祝休日でない日)

052-910-3366 (FAX 052-910-3367)

kita@bunka758.or.jp

地下鉄名城線「黒川」下車 4番出口から北へ徒歩12分
市バス「北図書館」バス停下車 東へ徒歩3分

ホームページはこちら



北文化小劇場だより

2026
11月

今月の特集：

12/19「The Polar Star Jazz Orchestra 10th Concert」
音楽で繋がる、まちのビッグバンド！



表紙写真：The Polar Star Jazz Orchestra 9th Concert (2026年3月7日/北文化小劇場)

Topics

- ・今月の特集：12/19「The Polar Star Jazz Orchestra 10th Concert」
- ・伝統文化アドバイザー連載エッセイ
- ・劇場レポート：8/19「サーカスエコロジカル」

総合建設業
株式会社 原田工務店
052-901-3210

KAWAI
NAGOYA
052-962-3939

清酒 金虎
052-981-3960

お料理・仕出し・うなぎ
魚鉄
052-911-1211

今の特集

12/19「The Polar Star Jazz Orchestra 10th Concert」 音楽で繋がる、まちのビッグバンド！

The Polar Star Jazz Orchestraは、名古屋市北文化小劇場を拠点に活動する市民参加のジャズビッグバンド。年に一回開催している定期演奏会のチケットは毎年連続完売！ぜひお早めにお求めください。



演奏者さんお客さんみなが一体となって、ジャズの世界を楽しむことができて、とてもステキな時間でした。机席での鑑賞でしたが、リラックススタイルで楽しめてとても良かったです！

「The Polar Star Jazz Orchestra 10th Concert」

[日 時] 2026年12月19日(土) 14:00開演 (13:30開場)

[場 所] 名古屋市北文化小劇場

[料 金] <全自由席・前売当日共通> **10月15日(木)9:00～発売**

一般2,000円／友の会・障がい者等1,800円／U29割(29歳以下)1,000円

※未就学児入場不可 ※予定枚数到達次第、販売終了

定期演奏会の前に…

北区区民まつり“きた・きたフェスタ”

出張演奏

[日 時] 2026年11月22日(日) 10:00～14:30

PSJOの出番は【10:15～10:35】を予定しています

[場 所] 名古屋市北区役所 講堂 [料 金] 無料

皆さんの素晴らしい演奏、毎回のゲストセッションも今回もすばらしく楽しめました。ありがとうございます！個人的にはAgainst All Odds印象深かったです。ソリストだけでなくビッグバンドのよさを感じました。



※コメントは前回公演アンケートの一部です。

ゲスト
荒川”B”琢哉
Percussionist /
Arranger & Composer



伝統文化アドバイザー
連載エッセイ

端唄って何？其の十

伝統文化アドバイザーでのエッセイもついに十回をむかえました。毎回、わたしの分野の三味線小歌曲、江戸時代の流行歌である端唄・小唄をどのように誌面でご紹介・選曲しようかと楽しみでもあり、遅筆なわたしはいつも締め切りと睨めっこです。今回は、わたしが継承しております、尾張名古屋の伝統歌「正調名古屋甚句」をご紹介しますと思います。

「甚句」とは、ずばりお国自慢をうたいこんだ曲です。甚句の最初をたどると神様にお供えした句＝神句とも言われています。正調名古屋甚句は、全国に街、川、作業うたの甚句系、地方歌の数々名曲があれど、名古屋という都市の発展と文化が生んだ稀な甚句です。洗練された歌詞の楽曲の組曲です。

組曲は5の構成からなり、前唄「恋の鯉」は、鯉が狭き門、荒々しい瀧を勇壮に昇り龍王になるという伝説、鯉の滝登りをあらわし慶事の時にもおめでたいとして歌われます。

本唄「宮の熱田」は、熱田神宮はかつて海岸が近く、そこに吹く風は、海から爽やかな風が吹き抜ける土地でありながらどうして「熱田」というのだろうと詠んだ西行法師の和歌からきています。この前唄、本唄をうたう時、いつもわたしの心にも爽やかな凜とした風が吹きます。続く「尾張大納言」は、幕末明治にかけ万国博覧会展示の為、名古屋城の金の鯨が、牡牝、別々に離され全国行脚、純金なのに真鍮と心中との掛け言葉の上、揶揄された、金鯢の悲哀をコミカルに読み込んであります。「花の名古屋」当時の名古屋の碁盤割で出来た街の繁盛ぶりと街の発展が旧町名と共に歌詞になっています。私も生粋の名古屋人、花の名古屋を唄うと誇らしい気持ちになります。

最後は、さわぎ唄である「名古屋名物」。これが名古屋甚句と思っていらっしゃる方も多いのですが、甚句ではありません。あまりに正調名古屋甚句が洩いたため、このアップテンポな曲を、軽快な名古屋弁と共に組曲として最後につけました。十返舎一九が東海道中膝栗毛にも、当時正調名古屋甚句が流行っていたと書いています。一旦廃れるも、幕末明治に、私共の系譜系統の師である中興の祖、大須の名古屋甚句の甚鍵、甚ふくが、美声でうたいあげる正調名古屋甚句がおおいに再流行し、「芸者殺すにゃ刃物はいらぬ甚句とめれば皆殺し」まで、言われるほど大流行しました。



端唄 華房流 華の会 二代目家元
華房 小真先生

江戸期より伝わる端唄・小唄を中心とし、名古屋の伝統芸能「正調名古屋甚句」「熱田神戸節」「都々逸」の演奏、指導、伝承に力を入れ、舞台・テレビ・ラジオに数多く演奏出演、また大学での実演指導・講義も行っている。名古屋市を中心に稽古場を設け、親しみやすく伝承・保存するために指導。また、公共・教育機関の公演やワークショップで若い後進の育成にも力を入れている。

約50年くらいまでは、座敷での余興程度でうたわれておりましたが、こんな素晴らしい歌は、名古屋市民だけでなく皆さんに広めていかなければならないとの強い思いから、「広める会」を創設。華房流宗家の華房真子（甚富華）が保存と共に広める会を作り、甚句指導、門弟と共に広める演奏活動をしております。

私もその信念の元、素晴らしい正調名古屋甚句の魅力を広める指導、演奏活動をしております。今では子どもたちにも指導し、このご当地のうたに、誇りと自負をもって彼らもうたっております。

私どもの甚名は、甚鍵・甚ふくの正調を受け継ぐ節で歌う証として、故杉戸清元市長より名取名を許されました。私も37年前に甚富生の名を許され、演奏指導活動しております。この素晴らしい江戸時代から続く稀な楽曲、正調名古屋甚句から、わたしたちの暮す街の歴史、文化を身近に感じ、また再発見、名古屋の誉れとして頂きましたら幸いです。

正調名古屋甚句を広める活動として、皆さまに歌唱指導、ワークショップがあります。ぜひ一緒に歌いましょう！お出かけ頂きましたらと思います。

EVENT INFORMATION

「深掘り！正調名古屋甚句の世界」

10月31日(土) 10:30～12:00 **先着順/要事前申込**
NHK文化センター名古屋教室 TEL 052-952-7330

五感で楽しむ伝統芸能

「温故知新のなごや唄 - 正調名古屋甚句 -」

12月5日(土) 13:30～14:45

先着順/要事前申込 【11月19日(木)10:00～受付開始】

文化のみち二葉館 TEL 052-936-3836

三味線体験付き 参加無料 (要入館料)

事業レポート

8/19 TEAMパフォーマンスラボ「サーカスエコロジカル」

大人気！「サーカスエコロジカル」が北文化小劇場に帰ってきました！涼しくて広い劇場は夏のおでかけ先にぴったり。世界中でエネルギー問題に直面している今、みんなでエコについて考えるきっかけになれば…と、再登場に至りました。

江古田博士と助手ヒロポンのやり取りに、子どもたちは手を叩きながら大笑い。「たくさん笑って勉強にもなりました」「また来年もあったら、友達をさそってきたいです」「じょしゅとはかせがおもしろかった。いろいろなことを知った」と嬉しい感想をたくさんいただきました！ご来場ありがとうございました♪



快適以上を、世の中へ。

TOENEC